

データ連携ワーキンググループ(WG)の 進め方の概要

令和5年6月29日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局



課題間データ連携の要点

- 社会実装に向けて、課題およびテーマの価値向上のためにデータ連携を行う。
- データ連携(データ提供または相互交換)で得られる価値やシナリオの仮説を各課題で検討する。
- まずは全体像から検討し、逐次ユースケースを整理しながら、アジャイルに進める。

| | |
|---------------|---|
| 全体像 | <ul style="list-style-type: none">• データ連携で解決したい課題（SIPに関する課題）• 得られる価値／成果・・・など |
| ユースケース | <ul style="list-style-type: none">• 背景／連携するデータ／提供価値• 課題解決のシナリオ・・・など |
| 具体内容 | <ul style="list-style-type: none">• データの粒度、頻度• 付帯データ、フォーマット・・・など |
| スケジュール | <ul style="list-style-type: none">• データ連携の計画• 試作時期／実装時期・・・など |

図 各課題で検討していただくユースケースシナリオ（目論見書）（案）

課題間データ連携の検討方針：ステップイメージ

仮説

事前検証

データ連携の試作・実装

データ連携による新たな価値の仮説検証

現状分析：

ユースケースの例示等
テーマ毎の課題検討

仮説設定：

解決したい課題案だし
目論見書(※)を提案

検証(データマッチング)
必要なデータの検討
提供者とマッチング

事前検討

期待するデータモデルの検討
粒度・頻度

DATA-EXによるデータ連携の実現

要件定義
概算見積もり

設計試作

テスト

リリース

※ユースケースシナリオ（目論見書）の初案は、8月前半を目標に課題から提案いただく事を想定

課題間データ連携基盤：DATA-EXの対象範囲

データを作る

データを
検索可能とする

データを流す

データを使う

メタデータ横断検索

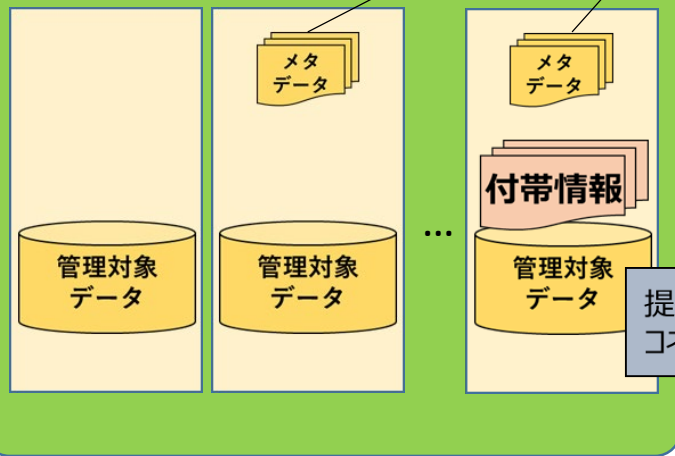
メタデータ登録

【分野内データ基盤】
SIP第3期で課題内で推進

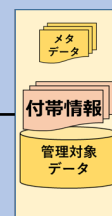
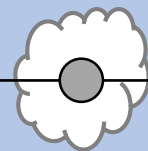
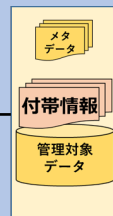
【データ連携WG】
SIP第3期で課題間データ連携として推進

DATA-EXの特徴

契約/認証管理
トラスト連携等



提供者
コネクタ



利用者
コネクタ

必要に応じて
コンバート等

利用者
システム

データ提供者

DATA-EX

データ利用者

付帯情報：データの単位、取得環境、利用契約書など、データ利用に必要な情報

管理対象データ：分野共通のデータ(日付/住所/緯度経度等)は、形式の標準化を検討